※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	１単位	年次	１年前期
使用教科書	書道Ⅰ　（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びます。
・篆隷行草から楷書に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目ざす。
（１）書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
（２）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
（３）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解している。またその価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わう感性を身に付けている。 創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付けている。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を創意工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期前半	篆刻	・自分の名前調べ（篆書） ・名前の制作	a：様々な石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさについて理解している。印稿づくりにおいて小筆の弾力を活かし、硬筆等にも応用できる技法を身に付けている。 b：篆刻における分間布白を理解し、表現を創意工夫している。 c：名前の各書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ
	書写と書道（書体の変遷） 漢字の書	・国語科書写と芸術科書道 ・「天」の字を使った書体の変遷 ・楷書の学習 唐の四大家に学ぶ 「孔子廟堂碑」 「九成宮醴泉銘」 「雁塔聖教序」 「顔氏家廟碑」	a：書道の類似点・相違点、漢字の変遷、楷書について理解している。 姿勢や執筆法の基本を身に付けている。 b：国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現を創意工夫している。 c：書写と書道の類似点・相違点、漢字の変遷、楷書について興味を持ち、今後の学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ
前期後半	漢字の書	・行書の学習 行書の基本 行書の古典作品 ・行書の学習 「蘭亭序」 「風信帖」	a：行書の特徴や良さを理解している。 筆の入り方や運筆法、筆使いを理解している。 b：行書の基本的な用筆方法を理解し、表現を創意工夫している。 c：行書が身の回りのものに使われていることに興味を持ち、今後の学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度